

【文部科学省】採択事業：がんプロワークショップ（1月20日実施）動画配信開始のお知らせ

この度、令和5年度【がんプロ】「ワークショップ」（テーマ：「がんになったらいくらかかるの？治療機会の損失やQOLの低下を防ぐために」）の動画配信を開始しました。

本学大学院生、**【医療福祉 e チャンネル】**にご登録されている皆さまはどなたでも無料にて視聴可能です。是非ご視聴ください。

このワークショップは、文部科学省「次世代のがんプロフェッショナル養成プラン」事業における、本学や東京医科歯科大学を含む連携7大学が共同で取り組む「次世代がん医療を担う多職種人材養成プラン」が採択され、事業の一環として、2024年1月20日（土）本学大学院主催にて東京赤坂キャンパスで実施しました。

【医療福祉 e チャンネル】

<https://www.ch774.com/>

Web 受講 学生向け がんプロコース映像教材

「2023年度がんプロワークショップ「がんになったらいくらかかるの？治療機会の損失やQOLの低下を防ぐために」

※ご自身のIDとPWでログインいただければと存じます。※ご視聴終了後にアンケートのご協力をお願いいたします。

[ワークショップ概要]

■日時：2024年1月20日（土）15:00~17:00

■場所：国際医療福祉大学 東京赤坂キャンパス 301教室（多目的ホール）（ハイブリッド：会場+オンライン）

■テーマ：**「がんになったらいくらかかるの？治療機会の損失やQOLの低下を防ぐために」**

■プログラム：

コーディネーター・座長：樋口 肇 国際医療福祉大学 医学部臨床腫瘍学教授
国際医療福祉大学成田病院腫瘍内科部長

Opening remarks： 矢富 裕 国際医療福祉大学大学院長

セッション1

講演1 症例提示：「臨床現場で経験する経済毒性－臨床医の視点から－」

演者 小林 桃子 国際医療福祉大学 医学部 助教
国際医療福祉大学成田病院腫瘍内科

講演2 医療ソーシャルワーカーより伝えたいこと：「がんになる前に知っておきたい社会資源」

演者 高濱 友里江 国際医療福祉大学 成田病院 医療ソーシャルワーカー

セッション2

特別講演 演題名：「がんの経済毒性」

演者 本多 和典 愛知県がんセンター 薬物療法部 医長

総合討論

Closing remarks： 樋口 肇 国際医療福祉大学 医学部臨床腫瘍学教授
国際医療福祉大学成田病院腫瘍内科部長